

みんなが幸せになるICT利用型授業を目指して

F9班

1. はじめに

背景: 三高で教室毎にプロジェクターが設置され、様々な授業でICTを利用している

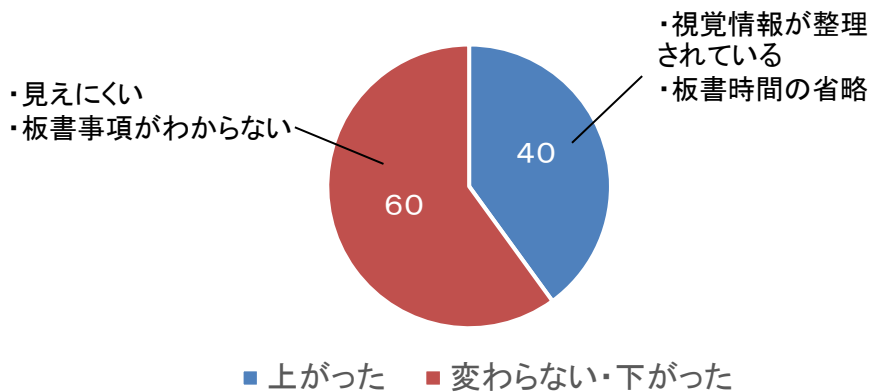
↓
プロジェクターやタブレットを導入したことによって生徒の理解度は変化するのか

目的: ①ICTを活用することのメリットを見つけ、それを自主学習の場でも応用できないか考える
②学習における理解度が上がる方法を見出す

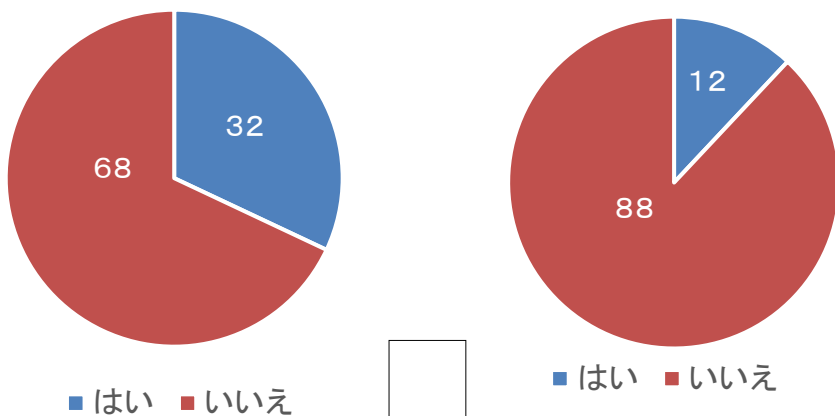
プロジェクトを導入しても理解度は変わらない

2. 事前アンケート

授業の質の変化(%)



授業内での理解(%) 時間が経っても記憶に残る(%)



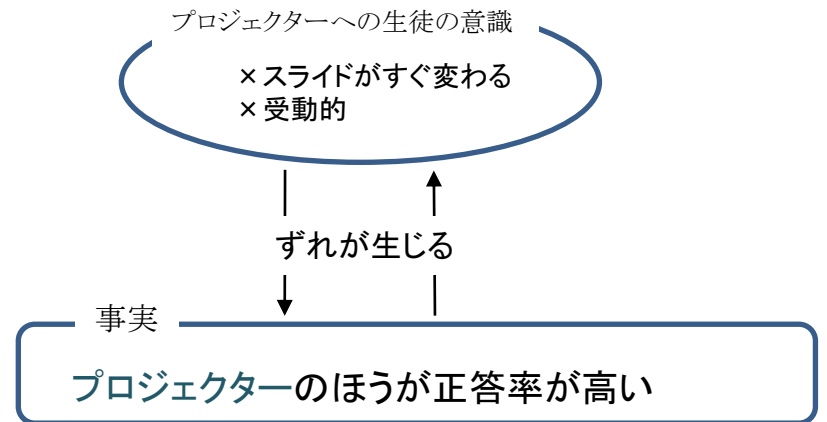
予想: プロジェクター < 黒板

実験方法

- ①黒板とプロジェクターをそれぞれを用いて約10分間の授業を行う
*内容はどちらも数学の同未修分野
- ②授業直後10分間の小テストを行う
- ③正答率を調べる

被験者-2年普通科の生徒から無作為に抽出した10名
黒板、プロジェクターに割り振る

4. まとめ



よりよい授業をつくるために

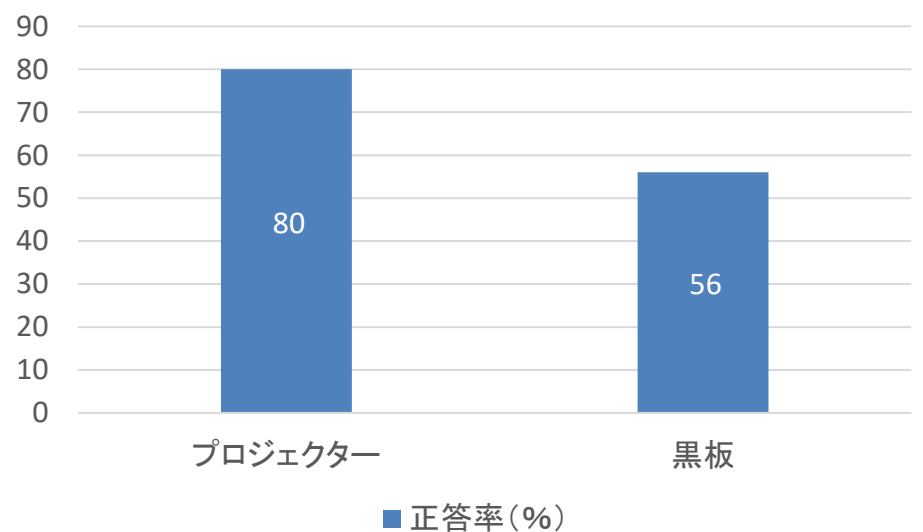
- ①プロジェクトへの固定観念をなくす
- ②生徒と教師のコミュニケーションを増やす(=対話型)

自主学習の場では

- ▶動画配信サービスの活用
- 視覚情報が整理されている
- 一時停止や巻き戻しが自由に行える

3. 実験結果

正答率(%)



プロジェクト

- ・板書時間の省略
- ・図が正確でまとまっている
- ・補足説明だと区別しやすい

黒板

- ・先生の書く動作と説明が同時

結果: プロジェクター > 黒板

参考文献

- 庄ゆかり (2013) 「ICTを活用した授業における学習者分析と教育手法評価」
長友義彦 (2016) 「ICTを活用した授業の現状について」
文部科学省 (2013) 「ICTを活用した教育の効果」